

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	新編化学基礎(東京都書)
補助教材等	ダイナミックワイド図説化学、ニューグローバル化学基礎+化学(東京書籍)
学習上の留意点	
<p>評価は $(a+b-c) \times 100 / (A+B)$ でおこなう ただし、定期試験 a点(A点満点) 小テスト b点(B点満点) 授業態度等 c点 再試験等を行わない</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>理解するためには、頭を使わなければならない。しかし、頭だけでなく、目、耳、口、手も使わなくてはいけない。 1問1問、電卓のキーをたたいて問題を解くことが大事です。コツコツと</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	前期復習テスト		
2	質量パーセント濃度、モル濃度 演習	濃度の計算ができる	
3	演習		
4	反応式の立て方 演習	化学反応を反応式で表すことができる	
5	反応和ともなう計算(基礎編) 演習	反応をともなう計算ができる	
6	反応和ともなう計算(過不足編) 演習	反応をともなう計算ができる	
7	後期中間試験		
8	後期中間試験の解説 酸とは、塩基とは 酸・塩基の強弱	酸・塩基の定義ならびに酸・塩基の強弱がどのようなものが理解できる	
9	水素イオン濃度、pH	水素イオン濃度、pHの計算ができる	
10	演習		
11	指示薬、中和反応	指示薬とはどのようなものが理解できる 中和の基本が理解できる	
12	塩の分類とその水溶液の性質	塩の水溶液の性質が答えられる	
13	中和滴定	中和の基本を使って中和滴定の計算ができる	
14	中和滴定曲線	中和とpHの関係が理解できる	
	学年末試験		
15	学年末試験の解説		
総 授 業 時 間 数			30 時間